

| | | | |
|-----|-----------------|------|---------------|
| 科目名 | 実習 I | 整理番号 | |
| 学科 | ファッションクリエイター学科 | 期 | 通年 |
| コース | ファッションクリエイターコース | | 昼間 |
| 学年 | 1年 | 授業形態 | 講義 20% 実習 80% |
| 時間数 | 300 | 作成者 | 江田 泉 |

【科目の到達目標】

すぐれた衣装、アイデアのあるデザインを表現するためには縫製技術が必要である。
本教科では、様々なアイテムの洋服や衣装を製作するための縫製技術の基礎を学び、修得する。

【科目の概要】

様々なアイテムの洋服や衣装を製作するための縫製技術を学び、修得する。
トートバッグ(基礎縫い)・スカート・ブラウス・ジャケット・リメイク作品・部分縫い(スカート・パッチポケット・箱ポケット・雨蓋ポケットなど)の製作。

【授業計画】

| 90分/コマ | | 前期 | 後期 | |
|--------|------------------------|----|---------|-----------------------------|
| 1・2 | 道具説明・トートバッグ仕様書の書き方 | | 91・92 | 上安祭のためのエプロン作成や準備 |
| 3・4 | 生地ツアー | | 93・94 | クラス単位の取り組み |
| 5・6 | ミシン講習 | | 95・96 | Tシャツプリント転写など |
| 7・8 | トートバッグ パターン作成、裁断 | | 97・98 | |
| 9・10 | 縫製 | | 99・100 | ポケット部分縫いによるベスト |
| 11・12 | 縫製 | | 101・102 | ※パッチポケット |
| 13・14 | まとめ | | 103・104 | ※雨蓋ポケット |
| 15・16 | オリジナルスカート デザイン出し、縫製仕様書 | | 105・106 | ※箱ポケット |
| 17・18 | ↓ 採寸、製図 | | 107・108 | 見返し始末 |
| 19・20 | オリジナルスカート 製図(およその用尺把握) | | 109・110 | 縫い代パイピング始末 |
| 21・22 | 部分縫いスカート ダーツ、ファスナー付け練習 | | 111・112 | 裏無しジャケット(テーラード)デザイン出し、縫製仕様書 |
| 23・24 | 部分縫いスカート ベンツ・スリットあき練習 | | 113・114 | 仕様書作成・地直し |
| 25・26 | ” トワール両身作成(仮縫い) | | 115・116 | 裁断・芯貼り |
| 27・28 | ” ↓ | | 117・118 | 縫製 身頃作り(ポケット作りなど) |
| 29・30 | ” パターン補正 | | 119・120 | 縫製 裏始末(ロック/パイヤステープ) 袖作り |
| 31・32 | ” 抜き出し、縫い代付け | | 121・122 | 縫製 見返し合わせ・襟作り |
| 33・34 | ” 地直し、裁断 | | 123・124 | 縫製 袖付け |
| 35～42 | ” 縫製(90分×8コマ) | | 125・126 | まとめ ボタンホール、ボタン付け 仕上げ |
| | | | 127・128 | 発表 |
| 43・44 | オリジナルスカート 発表 | | 129・130 | リメイク/上コレ |
| 45・46 | パンツ デザイン出し、縫製仕様書・製図 | | 131・132 | |
| 47・48 | 縫い代付きパターン作成、裁断 | | 133・134 | |
| 49・50 | ポケット付け、脇線、股下 | | 135・136 | |
| 51・52 | 足口、股ぐり | | 137・138 | |
| 53・54 | ベルト付け、ゴム・紐通し | | 139・140 | |
| 55・56 | オリジナルブラウス パターンチェック | | 141・142 | |
| 57・58 | 仕様書作成・地直し | | 143・144 | |
| 59～62 | 裁断・芯貼り | | 145・146 | ▼ |
| 63～68 | 身頃作り(ポケット作りなど) | | 147～150 | まとめ |
| 69～72 | 袖作り、袖付け | | | |
| 73～76 | 襟作り、襟付け | | | |
| 77・78 | まとめ ボタンホール、ボタン付け | | | |
| 79・80 | ブラウス作品発表 | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| 81～84 | まとめ | | | |
| 85～90 | ジャケットデザイン | | | |

【成績評価方法】

課題作品の評価(提出物・小テスト・プレゼンテーションなど) 70%、期末試験 30%

【教科書・参考書】

上田安子『立体式洋裁』服飾手帖社 改訂版
上田安子『縫い方全書』服飾手帖社 改訂版
『テーラリングテクニック』・『スカート』・『ブラウス』・『パンツ』・『ジャケット』上田安子服飾専門学校 最新版
教員作成のオリジナルプリント

【教材・教具】

ミシンなど縫製機器、洋裁道具一式・製図道具一式

| | | | |
|-----|-----------------|------|---------------|
| 科目名 | パターンメイキングⅠ | 整理番号 | |
| 学科 | ファッションクリエイター学科 | 期 | 通年 |
| コース | ファッションクリエイターコース | | 昼間 |
| 学年 | 1年 | 授業形態 | 講義 20% 実習 80% |
| 時間数 | 180 | 作成者 | 大沢 妙 |

【科目の到達目標】

基本的な立体と平面製図の構造、理論を理解する。
 基本的なパターンメイキングができる。オリジナルデザインの製図に応用できる。

【科目の概要】

洋裁教科書、製図Ⅰ綴り、補助教材、実寸大トワールサンプルによる解説。
 教員による製図の板書やトワール組立てなどの実演指導をメインとする。
 基本の実寸製図をトワール組にて検証。サイズ感や形状を把握、応用できるようにする。

| 【授業計画】 90分/コマ | | 【授業計画】 90分/コマ | |
|------------------|-----------------------------|------------------|----------------------------|
| 前期 | | 後期 | |
| 1・2 | 道具説明・サイズ、採寸について、スカート概論 | 61・62 | ジャケット トワール組 |
| 3・4 | スカート原型作成、ダーツの説明 | 63・64 | ジャケット パターン抜き出し、縫い代付け |
| 5・6 | スカート丈の違いによる蹴回し、動作の関係性 | 65・66 | アウトドアウェア フードのバリエーション |
| 7・8 | スカートバリエーション(セミタイト、パネル切替 | 67・68 | トワール組 |
| 9・10 | ベザント、フレア、サーキュラー、プリーツ) | 69・70 | ワンピース概論 上田原型理論 ウエスト始末6種 |
| 11・12 | 縫い代付けの練習、スカート単元のまとめ、テスト | 71・72 | ウエスト接ぎワンピース 製図 |
| 13・14 | 身頃の概論、人体とゆるみの関係について | 73・74 | // 襟なしアイテムの始末について 部分見本作成 |
| 15・16 | 原型の身幅設定、立体検証 | 75・76 | // トワール組 |
| 17・18 | 袖の概論、身頃との関係性 | 77・78 | // トワール組 |
| 19・20 | 袖山の理解、立体検証 | 79・80 | // トワール修正 |
| 21・22 | 袖のバリエーション(パフスリーブ、ピシヨップ) | 81・82 | // パターン修正 |
| 23・24 | 襟のバリエーション(スタンド、タイ、シャツ、フラット) | 83・84 | ワンピース単元のまとめ、テスト |
| 25・26 | オリジナルブラウス デザイン検討、仕様書作成 | 85・86 | 2年ブレタシャツに向けて 台襟、ヨーク、剣ボロの理解 |
| 27・28 | // 製図 | 87・88 | 様々な部分仕様見本の作成 |
| 29・30 | // トワール組 | 89・90 | まとめ |
| 31・32 | // トワール組 | | |
| 33・34 | // トワール修正、ブラッシュアップ | | |
| 35・36 | // パターン修正、抜き出し | | |
| 37・38 | // 縫い代付け | | |
| 39・40 | 身頃、袖、襟、ブラウス単元のまとめ、テスト | | |
| 41・42 | パターン検定3級デザイン① 作図 | | |
| 43・44 | // ② 作図 | | |
| 45・46 | ①or②のどちらか選択、作図～トワール組まで | | |
| 47・48 | スラックス原型作図 パンツの概論 | | |
| 49・50 | ジャケットのゆとり設定、3面体、4面体の構造 | | |
| 51・52 | テラードカラーの構造 | | |
| 53・54 | 2枚袖 | | |
| 55・56 | ポケットの構造 ジャケット単元のまとめ、テスト | | |
| 57・58 | 後期に向けてオリジナルジャケットのデザイン検討 | | |
| 59・60 | 製図 | | |

【教科書・参考書】

上田安子『立体式洋裁』服飾手帖社、『パターンメイキングⅠ①、②』服飾手帖社、
 『紳士服製図・型紙の作り方』 配布プリント

【教材・教具】

筆記用具、製図用具一式(原型、実寸割り出し尺、1/2縮尺、三角定規、コンパス、分度器、トレーシングペーパー、マジヤ等)
 製図ノート、ケント紙、模造紙、動画資料

| | | | |
|-----|-----------------|------|---------------|
| 科目名 | ファッションドローイング I | 整理番号 | |
| 学科 | ファッションクリエイター学科 | 期 | 通年 |
| コース | ファッションクリエイターコース | | 昼間 |
| 学年 | 1年 | 授業形態 | 講義 30% 実習 70% |
| 時間数 | 60 | 作成者 | 立嶋滋樹 |

【科目の到達目標】

デザイン画などのビジュアルツールで他者とのコミュニケーションをはかれるようになる。

【科目の概要】

ファッションクリエイターが他者とイメージをやり取りする為のデザイン画(視覚化)を製作するための、絵画的な基礎(理論・技術)の習得・応用を目的とする。

【授業計画】

| 90分/コマ | | 前期 | 後期 |
|--------|-------------------------|--------|------------------------|
| 1 | オリエンテーション(デザイン画の目的) | 16 | デザイン画選手権 制作② |
| 2 | 右脳で描く(記号的認識の排除) | 17 | 生地・素材の表現① (デニム素材) |
| 3 | 人物クロッキー・線の種類(多様な線) | 18 | 生地・素材の表現② |
| 4 | 比率・プロポーションアナライズ・直立ポーズ | 19 | 生地・素材の表現③ |
| 5 | 比率・プロポーションアナライズ・片足ポーズ | 20 | パーツ・金属の表現① |
| 6 | 人物クロッキー・骨格と重心 | 21 | 柄を描く |
| 7 | ヌードボディの着色 | 22 | メンズデザイン |
| 8 | ヌードボディへの着装① | 23 | オリジナルデザイン画 |
| 9 | ヌードボディへの着装② | 24 | デザイン画によるコミュニケーション「ブック」 |
| 10 | 服のディテール(ドレープ・ブリーツ・ギャザー) | 25 | 「ブック」制作 マкет制作の意味 |
| 11 | 顔のプロポーションとディテール | 26 | 「ブック」制作 スケジュール管理について |
| 12 | 身体の詳細(手・足・脚等)① | 27 | 「ブック」制作 材料の選択について |
| 13 | 身体の詳細(手・足・脚等)② | 28 | 「ブック」プレゼンテーション(発表)前半 |
| 14 | デザイン画選手権準備・情報の集め方 | 29 | 「ブック」プレゼンテーション(発表)前半 |
| 15 | デザイン画選手権 制作① | 30 | 学期末テスト |
| | | 学期末テスト | |

【成績評価方法】

授業内での提出物(半期5~7点)の評価と、学期末テストの合計

【教科書・参考書】

『F・クリエイション・ドローイング』 立嶋滋樹 服飾手帳社

【教材・教具】

スケッチブック・クロッキーノート・ケント紙・鉛筆類など描画材・デザインガッシュなどの絵の具類
ファッション雑誌など

| | | | |
|-----|-----------------|------|-----------------|
| 科目名 | ファッションデザイン論Ⅰ | 整理番号 | |
| 学科 | ファッションクリエイター学科 | 期 | 通年 |
| コース | ファッションクリエイターコース | | 昼間 |
| 学年 | 1年 | 授業形態 | 講義 60 % 実習 40 % |
| 時間数 | 60 | 作成者 | 小西祐司 |

【科目の到達目標】

ファッションデザインを考えるときに、過去の衣服の変遷や民族による衣服の違いを知ることは必須である。本科目ではこれらについての知識を修得し、「自分で調べ、考え、まとめる」ことをとおしてオリジナルデザインを制作するための基礎を養成することを目標とする。

【科目の概要】

ファッションデザインの変遷と、民族・習慣等による衣服のデザインについて理解を深めるための講義と演習
現在、流通している衣服や歴史上の衣服のファッションデザインを整理・理解し、オリジナルデザイン画を制作する。

【授業計画】

| 90分/コマ | | 前期 | 後期 |
|--------|------------------------------------|----|----------------|
| 1 | 「ファッションデザインのもと」1 エレガントとスポーティ(1) | 16 | ジャケットのデザイン2 |
| 2 | エレガントとスポーティ(2) | 17 | ジャケットのデザイン3 |
| 3 | 「ファッションデザインのもと」2 モダンとフォークロア(1) | 18 | コートのデザイン1 |
| 4 | モダンとフォークロア(2) | 19 | コートのデザイン2 |
| 5 | スカートのデザイン1 | 20 | コートのデザイン3 |
| 6 | スカートのデザイン2 | 21 | フットウェアのデザイン1 |
| 7 | スカートのデザイン3 | 22 | フットウェアのデザイン2 |
| 8 | パンツのデザイン1 | 23 | フットウェアのデザイン3 |
| 9 | パンツのデザイン2 | 24 | アクセサリー 帽子のデザイン |
| 10 | シャツ・ブラウスのデザイン1 | 25 | ジャンパーのデザイン1 |
| 11 | シャツ・ブラウスのデザイン2 | 26 | ジャンパーのデザイン2 |
| 12 | シャツ・ブラウスのデザイン3 | 27 | オリジナルデザイン1 |
| 13 | ジャケットのデザイン1 | 28 | オリジナルデザイン2 |
| 14 | 上田学園コレクションのデザイン | 29 | オリジナルデザイン3 |
| 15 | 上田学園コレクションのデザイン | 30 | まとめ |

【成績評価方法】

課題評価点60%、期末試験30%、平常点10%を100点満点で評価する。

【教科書・参考書】

高村是州『スタイリング・ブック』グラフィック社、文化出版局『ファッション辞典』
WWDジャパン『WWD』

【教材・教具】

筆記用具、のり、はさみ、A4判ノート、コピックスマルチライナー、コピックスケッチ、ガッシュ着彩の用意

| | | | |
|-----|-----------------|------|---------------|
| 科目名 | 色彩構成 | 整理番号 | |
| 学科 | ファッションクリエイター学科 | 期 | 前期 |
| コース | ファッションクリエイターコース | | 昼間 |
| 学年 | 1年 | 授業形態 | 講義 20% 実習 80% |
| 時間数 | 30 | 作成者 | 杉山佳美 |

【科目の到達目標】

色彩の基本理解と課題制作を通して創作の視点と発想力を高める。
色彩の知識と感覚(感性)を服飾に反映させる。

【科目の概要】

ファッション分野に限らず色彩は重要であり、色を主観ではなく客観的に分析できるための授業を行う。
テキスト「デザインの色彩」の基礎学習と絵具(デザインガッシュ)で課題制作を行なう。
授業前半に配色技術を習得して、後半のイメージ配色では各自の独創性を表現する。

【授業計画 90分/コマ 前期】

- 1 授業ガイダンス デザインにおける色彩の必要性 講義
- 2 色の三原色から色相作り・カラーカードの制作
- 3 【課題1】 対比の配色の制作
- 4 【課題2】 2体のコスチューム・ポーズのデザイン・明度・彩度対比の制作
- 5 2体のコスチューム・ポーズのデザイン・明度・彩度対比の制作
- 6 【課題3】 イメージとトーン的制作①マップ製作
・ロマンティック・フェミニン／クラシック・ベーシック／スポーティ・フォークロア
- 7 イメージとトーン的制作①着色
- 8 【課題4】 イメージとトーン的制作②マップ製作
・自由テーマ
- 9 イメージとトーン的制作②着色
- 10 【課題5】 イメージとトーン的制作③マップ製作
・自由テーマ
- 11 イメージとトーン的制作③着色
- 12 【課題6】 ポスター製作 下描き
- 13 ポスター製作 着色
- 14 ポスター製作 着色
- 15 仕上げ・復習

テスト期間 テスト

【成績評価方法】

課題 60% 試験 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

中田満雄・北島耀・細野尚志『デザインの色彩』財団法人日本色彩研究所 2011年

【教材・教具】

デザインセット(デザインガッシュ絵具／パレット／筆／筆洗)
スケッチブック. 配色カード. 定規. 雲形定規. コンパス等

| | | | |
|-----|-----------------|------|-----------------|
| 科目名 | 立体構成 | 整理番号 | |
| 学科 | ファッションクリエイター学科 | 期 | 後期 |
| コース | ファッションクリエイターコース | | 昼間 |
| 学年 | 1年 | 授業形態 | 講義 20 % 実習 80 % |
| 時間数 | 30 | 作成者 | 杉山佳美 |

【科目の到達目標】

服は造形物であるという概念をもち、山折り・谷折りの基本と応用パターンを服飾に展開する。制作過程を通して形をつくるための方法論と技術を習得する。

【科目の概要】

ファッションは時代を象徴しているが、その構成原理を理解し、発想力を高める授業を行う。主にケント紙を素材にした立体の基本と応用の課題制作を行い、造形の美しさを表現する。

【授業計画】 90分/コマ 後期

- 1 【課題1】 直線プリーツ・山折り・谷折りの展開
- 2 【課題2】 曲線を使った立体の制作 本体作成
- 3 曲線を使った立体の制作 ふた作成
- 4 【課題3】 立体折りをを使ったレリーフの制作
- 5 立体折りをを使ったレリーフの制作
- 6 立体折りをを使ったレリーフの制作 提出
- 7 【課題4】 折りのバリエーション 7種
- 8 折りのバリエーション 7種
- 9 折りのバリエーション 7種
- 10 折りのバリエーション 7種 提出
- 11 【課題5・6】 ボディと衣装の制作 : ボディ製作
- 12 ボディと衣装の制作 アイデア出し
- 13 ボディと衣装の制作 衣装製作 ①
- 14 ボディと衣装の制作 衣装製作 ②
- 15 ボディと衣装の制作 衣装製作 仕上げ 提出

試験期間 テスト

【成績評価方法】

課題作品評価 60 % 期末試験 30 % 授業態度 10%

【教科書・参考書】

資料プリント『美の構成学・バウハウスからフラクタルまで』三井秀樹 著 中公新書 2011年(第10版)
資料プリント『立体ふしぎ折り紙』三谷 純 著 二見書房 2011年1月

【教材・教具】

ケント紙、. カッターナイフ、定規、コンパス、セロテープ、カッティングマット、接着剤、クリップ、トワール など

| | | | |
|-----|-----------------|------|---------|
| 科目名 | 服飾素材論 I | 整理番号 | |
| 学科 | ファッションクリエイター学科 | 期 | 後期 |
| コース | ファッションクリエイターコース | | 昼間 |
| 学年 | 1年 | 授業形態 | 講義100 % |
| 時間数 | 30 | 作成者 | 河本 育子 |

【科目の到達目標】

ターゲットのニーズに応じた素材提案ができる人材の育成を目指す。
 アパレル素材についての基礎知識を修得し、その代表的な布地の特性を理解する。

【科目の概要】

多様化するニーズ、マーケットやチャネルの変化の中にあっても、材料となる素材を抜きにファッションを語る事はできない。
 本教科では、講義によりアパレル素材の基礎知識を体系的に修得。また教科書等の実物サンプルを通して、布地特性の理解を深め、ターゲットに応じた素材選びを学んでいく。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 オリエンテーション
ファッショントレンドと素材の関連性について
- 2 素材とは？(繊維・糸・布地)
- 3 生地の種類(織物・編物)について
- 4 ・繊維の種類について
天然繊維・化学繊維
- 5 繊維の特性
- 6 ・天然繊維(1)・植物繊維一綿
代表的な綿織物
- 7 ・天然繊維(2)・植物繊維一麻
代表的な麻織物
- 8 ・天然繊維(3)・動物繊維一毛
- 9 代表的な毛織物
- 10 ・天然繊維(4)・動物繊維一絹
- 11 代表的な絹織物
- 12 生地の加工・色・パターン(柄)について
- 13 まとめ
- 14 総復習(テスト傾向と対策)
- 15 総合テスト

【成績評価方法】

提出物(レポート)の評価 40 %
 テスト 50% (期末試験40%, 小テスト 10%)
 授業態度 10 %

【教科書・参考書】

・一見 輝彦『わかりやすいアパレル素材の知識』ファッション教育社 2012年
 ・『生地の事典』株式会社みずしま加工 2013年

【教材・教具】

筆記用具

| | | | |
|-----|-----------------|------|---------------|
| 科目名 | ファッションビジネス論 I | 整理番号 | |
| 学科 | ファッションクリエイター学科 | 期 | 後期 |
| コース | ファッションクリエイターコース | | 昼間 |
| 学年 | 1年 | 授業形態 | 講義 60% 実習 40% |
| 時間数 | 30 | 作成者 | 塩田千織 |

【科目の到達目標】

ファッションビジネスの基礎知識と社会人に必要なコミュニケーション能力を講義と演習(グループディスカッション)により修得し、ファッションマーケットの情報収集力・分析力を身につけ、市場変化のポイントを発見し、今後のファッションビジネスについて自らの意見を持つようになる。

【科目の概要】

近年eコマースなどを中心にモノの売られ方が大きく変化している。そこで流通されるファッション商品のクリエイションに関わる者にとっても、ファッションビジネスを理解し意識する力はこれからも求められる。そこでファッションビジネスの基礎知識としてファッションビジネスの基本的な仕組みを理解した上で、常に変化し続ける今の時代のファッションビジネス情報を業界誌や業界新聞などから収集し、どのような変化が見られるのかを講義とグループディスカッションにより習得する。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 ファッションビジネスとは
- 2 ファッション商品の流通
- 3 ファッションビジネスのサイクル
- 4 ファッションビジネス市場Ⅰ 研究
- 5 ファッションビジネス市場Ⅰ 発表
- 6 ファッション消費者
- 7 ファッション小売業Ⅰ
- 8 ファッション小売業Ⅱ
- 9 ファッションビジネス市場Ⅱ 研究
- 10 ファッションビジネス市場Ⅱ 発表
- 11 アパレル産業Ⅰ
- 12 アパレル産業Ⅱ
- 13 ファッションビジネス市場Ⅱ 研究
- 14 ファッションビジネス市場Ⅱ 発表
- 15 期末試験

【成績評価方法】

提出課題の評価 60%、 期末試験 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

日経MJ・織研新聞・読売新聞・WWD

【教材・教具】

| | | | |
|-----|-----------------|------|---------------|
| 科目名 | クロッキー | 整理番号 | |
| 学科 | ファッションクリエイター学科 | 期 | 後期 |
| コース | ファッションクリエイターコース | | 昼間 |
| 学年 | 1年 | 授業形態 | 講義 10% 実習 90% |
| 時間数 | 30 | 作成者 | 山本廣道 |

【科目の到達目標】

ファッションデザインに必要なイメージスケッチ、デザイン画制作の為の絵画技術と知識の理解、習得。加えて、観察力の向上を目指す。

【科目の概要】

対象物を観察し自ら手を動かして表現することを通じ、オリジナルな表現のための基本的な技術を習得する。交替で学生モデル、プロモデル等を描く。

【授業計画】 90分/コマ

- 1 線の引き方
- 2 プロポーションと頭身割
- 3 骨格、筋肉と、重心
- 4 遠近法
- 5 正中線
- 6 量感と回り込み
- 7 コンテで描く1
- 8 コンテで描く2
- 9 筆で描く1
- 10 筆で描く2
- 11 大きなクロッキー
- 12 細部のクロッキー、顔、髪、手
- 13 アングル、俯瞰と仰瞰
- 14 動きのあるポーズ 学生自身がモデル
- 15 動きのあるポーズ 学生自身がモデル

試験期間 モデルを招集しヌードクロッキーを行う(試験)

【成績評価方法】

クロッキー課題90%、授業態度(出席率等)10%。以上を指導要項の認定に基づき評価。成績の総課題数は5で共通させる

『クリエイションドローイング』立嶋滋樹、『脳の右側で描け』ベティ エドワーズ(著)エルテ出版; 第3版

【教材・教具】

クロッキー帳、鉛筆、筆ペン、コンテ、マーカー、色鉛筆

| | | | |
|-----|-----------------|------|-----------------|
| 科目名 | クリエイティブデザイン | 整理番号 | |
| 学科 | ファッションクリエイター学科 | 期 | 前期 |
| コース | ファッションクリエイターコース | | 昼間 |
| 学年 | 1年 | 授業形態 | 講義 40 % 実習 60 % |
| 時間数 | 30 | 作成者 | 桑原 守 |

【科目の到達目標】

インスピレーションソースの獲得からイメージ表現・デザインング・作品製作までできるを目標にする。

【科目の概要】

クリエイティブなデザイン表現ができるようになるために、古着のリメイクやバッグのデコレーション、ファッションスタイリングを通してインスピレーションの引き出し方やイメージマップの製作、デザイン画から作品製作までを学ぶ。

【授業計画】 90分/コマ

- 1 オリエンテーション
- 2 アプリを使ったデザインidea集め
- 3 コンセプトの設定とデザイン画を描く
- 4 リメイク実習
- 5 リメイク実習
- 6 リメイク実習
- 7 リメイク実習
- 8 リメイク実習
- 9 プレタポルテコレクションでの課題発表
- 10 感想会
- 11 ムードボード制作
- 12 デザイン画
- 13 データ化してアプリで編集(ポートフォリオ)
- 14 プレゼンテーションと総評
- 15 テスト

【成績評価方法】

課題評価60% 試験評価30% 授業研究態度10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

| | | | |
|-----|-----------------|------|---------------|
| 科目名 | ファッショントレンド研究 | 整理番号 | |
| 学科 | ファッションクリエイター学科 | 期 | 前期 |
| コース | ファッションクリエイターコース | | 昼間 |
| 学年 | 1年 | 授業形態 | 講義 70% 実習 30% |
| 時間数 | 14 | 作成者 | 林 和子 |

【科目の到達目標】

チャレンジ精神をもって常に市場ニーズを先取りし、新しい価値と文化を創造しつつ、時代の変化に挑戦し続ける力を身につけることを目標とする。デザイン・プロセスとリサーチ・プロセスの関係性を掴み、両者が切っても切れない関係性であることを理解する。

【科目の概要】

自身のアイデンティティを築くには、基本的なリサーチが不可欠であることを解説。リサーチとは、どのように進めるべきか、何に役立つのか、なぜ行うのか、今のコレクションから意図を紐解きながら、独創性あふれる現代のビジュアルを意識させる。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 授業概要 ファッション業界、用語のA to Z
- 2 コレクションSSトレンド情報
- 3 コレクションAWトレンド情報
- 4 アイデアの出し方
- 5 アイデアからデザインへ
- 6 コレクションから市場へのトレンドの流れ①
- 7 コレクションから市場へのトレンドの流れ②

【成績評価方法】

課題90% 授業態度10%

【教科書・参考書】

ファッション週刊誌WWDジャパン

Robert Leach『FASHION DESIGN RESOURCE』株式会社ビー・エヌ・エヌ新社2013年

【教材・教具】

筆記用具 専用ノート 参考プリント 画材

| | | | |
|-----|-----------------|------|---------------|
| 科目名 | ファッションデザイン演習 | 整理番号 | |
| 学科 | ファッションクリエイター学科 | 期 | 後期 |
| コース | ファッションクリエイターコース | | 昼間 |
| 学年 | 1年 | 授業形態 | 講義 70% 実習 30% |
| 時間数 | 14 | 作成者 | 佐藤良祐 |

【科目の到達目標】

チャレンジ精神をもって常に市場ニーズを先取りし、新しい価値と文化を創造しつつ、時代の変化に挑戦し続ける力を身につけることを目標とする。デザイン・プロセスとリサーチ・プロセスの関係性を掴み、両者が切っても切れない関係性であることを理解する。

【科目の概要】

前期のファッショントレンド研究で身に着けたリサーチスキルを駆使してオリジナルブランドの企画を行う。世界情勢やトレンドを理解したうえで自身のアイデンティティに基づいたブランド企画の流れを学ぶ。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 授業概要
- 2 コンセプト解説
- 3 ターゲット設定
- 4 ムードボード作成
- 5 デザイン展開①
- 6 デザイン展開②
- 7 プレゼンテーション

【成績評価方法】

提出物評価60% プレゼンテーション30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

・ファッション週刊誌WWDジャパン
・WGSN

【教材・教具】

筆記用具 専用ノート 参考プリント